

# CONTENTS

# 大阪消防 7

表紙：放水中の大型プロアー  
(AIRCORE)

|                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 01：コンテンツ／災害概況        | 26：大阪の消防NEWS            |
| 02：ケイボウタイムズ          | 28：落語DE火の用心             |
| 06：「大阪南消防局」運用開始      | 29：自衛消防隊紹介／女性防火クラブだより   |
| 10：Just Do It！       | 30：春の叙勲                 |
| 12：No more!事故～撲滅への道～ | 32：消防漢字ガール              |
| 13：2025年大阪・関西万博      | 33：一緒に備えましょ！災害いつなんどき    |
| 14：コマンドアイ            | 34：【職務】煙火(花火)の事故について    |
| 16：震災対策一丁目一番地        | 36：市民表彰／救急安心センターおおさかだより |
| 18：実録!!調査鑑識          | 37：現場に活かす!救急救命士国家試験問題   |
| 20：救急いろは             | 38：九条みなみの昇任試験問題研究       |
| 22：全国消防職員意見発表会       | 39：健康ダイアリー              |
| 23：救助工作車がかっこえん車      | 40：アニマル環状線／編集後記         |
| 24：We are Rookies！   |                         |

## 大阪市の災害概況

### ◎火災概況

|               | 建物火災 |    |     |     | 小計  | 車両 | 船舶 | 爆発 | その他 | 合計  |
|---------------|------|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
|               | 全焼   | 半焼 | 部分焼 | ぼや  |     |    |    |    |     |     |
| 5月中件数         | 1    | 3  | 16  | 26  | 46  | 2  | 0  | 0  | 13  | 61  |
| 令和6年<br>5月末累計 | 4    | 10 | 79  | 153 | 246 | 19 | 0  | 2  | 33  | 300 |
| 令和5年<br>5月末累計 | 9    | 9  | 66  | 172 | 256 | 19 | 1  | 2  | 48  | 326 |
| 累計比較          | ▲5   | 1  | 13  | ▲19 | ▲10 | 0  | ▲1 | 0  | ▲15 | ▲26 |

### ◎救急概況

|               | 救急出場    |
|---------------|---------|
| 5月中件数<br>(概数) | 20,612  |
| 令和6年<br>5月末累計 | 107,950 |
| 令和5年<br>5月末累計 | 100,749 |
| 累計比較          | 7,201   |

### ◎火災・救急以外の消防活動概況

|               | 救助活動  | 危害排除 | 水防活動 | その他の<br>消防活動 |
|---------------|-------|------|------|--------------|
| 令和6年<br>5月末累計 | 1,841 | 509  | 0    | 459          |
| 令和5年<br>5月末累計 | 1,688 | 488  | 0    | 538          |
| 累計比較          | 153   | 21   | 0    | ▲79          |

## 第4回 特別高度工作車

(消防装備担当)

災害現場での活動を支える「警防部 警防課」。  
「ケイボウタイムズ」では、毎号、警防課の各担当  
による「この時期だから伝えたい」旬なネタを掲  
載するほか、警防課が取り組む施策や事業につ  
いてお伝えします。

## 大阪市消防局に新たに配備された 1台2役の働き者 特別高度工作車



特別高度工作車(住之江RW31)



大型ブロアー



### はじめに

令和5年度に大阪市消防局に配備された「特別高度工作車」。車両前方にウォーターカッター機能、荷台部分に大型ブロアー機能が搭載されており、一台で「ウォーターカッター車」と「大型ブロアー車」の役割を備えた車両です。ウォーターカッターは、車両からホースを延長して使用します。大型ブロアーは、現場付近まで車両で搬送するか、車両による進入が困難な場所には自走で現場に向かうことができます。

### DATA:特別高度工作車の仕様

|        |          |
|--------|----------|
| 全長     | 約8,950mm |
| 全幅     | 約2,490mm |
| 全高     | 約3,250mm |
| 車両重量   | 10,750kg |
| 乗車定員   | 2名       |
| 燃料タンク  | 100 L    |
| 水タンク容量 | 300L     |

市内災害はもちろんのこと、隣接都市をはじめ府下広域での活躍が期待されているほか、緊急消防援助隊の特殊装備小隊としても登録されており、今後、多種多様な災害時に派遣される見込みです。

### 特別高度工作車が配備された背景

非常に特殊な消防車両である特別高度工作車ですが、これまで都市部の消防本部を中心に配備されてきました。その背景には、平成17年に発生した「JR福知山線脱線事故」の教訓があります。

#### ■JR福知山線脱線事故

平成17年4月25日午前9時18分頃、兵庫県尼崎市にあるJR福知山線の塚口駅と尼崎駅の区間で、速度超過した列車が、カーブを曲がり切れず脱線しました。

レールから外れた車両は、線路に隣接していたマンションに激しく衝突し、乗客と運転手合わせて107名もの死者を出し、562名が負傷するという大惨事となりました。

現場では、マンションの駐車場などに停めてあった自動車などからガソリンが漏洩しており、気化した可燃性ガスが周辺に充満し、消防隊員らが車両を溶解するためのガスバーナーや、火花を散らすエンジンカッターといった救助用の資器材が使えない状況でした。使用資器材が制限され、有効な破壊活動が行えない状況下での乗客乗員の救出活動は困難を極め、3日後の4月28日まで続けられました。

#### ■配備状況

この災害を教訓に、総務省消防庁が平成18年度に配備することを決めたのが、特別高度工作車です。特別高度工作車は総務省消防庁無償貸与車両の一つで、緊急消防援助隊として活動する人員が所属する都道府県または市町村に対し、無償で貸与される国有財産となります。

まず大阪市をはじめ全国5都市に、その後、平成20年からの2年間で14都市に追加され、令和6年5月現在、19都市に配備されています。

当初は2台1組の配備でスタートしまし

たが、令和5年度に大型ブロアーとウォーターカッター機能が一体化された特別高度工作車となり、大阪市消防局を含め、札幌市消防局、東京消防庁、名古屋消防局、広島市消防局、福岡市消防局に配備され運用が開始されました。

### 特別高度工作車の2つの機能

#### ■大型ブロアー

大型ブロアー(AIRCORE)は、大型タービンの大風量と4、000L/分の大量放水によって、大規模火災の冷却・排煙・消火を効果的に行うことができる新しい消火装置です。

すでに東京消防庁では、商店街火災や倉庫火災において消火能力を発揮し、令和6年1月2日に発生した羽田空港地上衝突事故でも使用されました。

#### 特徴

●従来よりも優れた冷却消火及び陽圧式換気による消火戦術が可能。

## DATA:カッター部仕様

|      |                                                                                                       |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 噴射圧力 | 180MPa                                                                                                |
| 噴射速度 | 秒速603m                                                                                                |
| 噴射反力 | 91N                                                                                                   |
| 流量   | 毎分9.1L                                                                                                |
| 穿孔   | 厚さ20mmの鋼板で30秒以下<br>厚さ25mmのガラス板で2秒以下<br>厚さ0.8mmの鋼板シャッターで1秒以下<br>厚さ35mm以上の鋼製の防火戸で5秒以下                   |
| 切断   | 厚さ20mmの鋼板で30mm/分以上<br>厚さ25mmのガラス板で400mm/分以上<br>厚さ0.8mmの鋼板シャッターで400mm/分以上<br>厚さ35mm以上の鋼製の防火戸で100mm/分以上 |



使用状況



車両部分

## ウォーターカッター

● トンネル・倉庫・大規模工場火災における濃煙排除及び有毒ガスの拡散に有効。

● 噴霧放水による隊員の援護に有効。

● リモコンによる自在な操縦が可能。

■ **ウォーターカッター**

ウォーターカッターは、超高压水と研磨剤を使用して対象物を切断する「アプレシブウォータージェット」といわれる方法で物体を切断する装置です。超高压ポンプで加圧され、噴射圧力180MPaで噴射される水により切断を行います。

100〜200MPaの高压水は塗装、コンクリートのはつり作業で使用されており、100MPaを超えると岩石をも粉碎する力を持っています。

ハンドガンのノズルから噴射された超高压水と研磨材は、貫通性・切断性において非常に高い能力があり、至近距離で威力を発揮します。噴射環境や機器の知識、安全知識がない状態で使

## DATA:車両部仕様

|                   |                                                                   |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 型式                | TAF35                                                             |
| サイズ               | 全長 約3,000mm<br>全幅 約1,650mm<br>全高 約2,100mm (収縮時)<br>約3,260mm (伸長時) |
| 走行速度              | 0〜9km/時                                                           |
| 車両総重量             | 約3,900kg                                                          |
| エンジン              | 水冷4サイクル<br>ディーゼルエンジン                                              |
| 燃料タンク             | 50L                                                               |
| 最大稼働時間<br>(全負荷状態) | 5〜7時間                                                             |
| 最大登坂能力            | 58% (30°)                                                         |
| 最大横方向斜度           | 27% (15°)                                                         |
| 牽引力               | 3.8t (3,800daN)                                                   |



直状放水



噴霧放水



噴霧+直状



タービン部

## DATA:タービン部仕様

|           |                                                                                              |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 最大動作水压    | 1.6MPa                                                                                       |
| 放水量       | ジェット放水 (1.6Mpa) : 約3,500L/分<br>ミスト放水 (1.6Mpa) : 約1,500L/分<br>ジェット+ミスト放水 (1.3Mpa) : 約4,000L/分 |
| 最大放水距離    | ジェット 約80m以上<br>ミスト 約60m以上                                                                    |
| モニタ噴射パターン | リモートコントロールにより調整可能                                                                            |
| 流量        | ノズルにより可変                                                                                     |
| 俯仰角       | -20°〜+40°                                                                                    |
| 送水口       | 65mm町野式媒介×4口                                                                                 |
| 最大送風能力    | 105,000m³/時                                                                                  |



走破性に優れた油圧式ゴムクローラー



走行ルートを確保できる、重機の排土板のような障害物除去装置



自在に操作できる  
無線リモコン

車両部分の特徴

## 大型ブローアー(AIRCORE)

用すると、人体に重大な損傷を及ぼす恐れがあります。

特徴

- 火花を発生させることなく切断が可能。
- 鋼材、コンクリート、ガラス、タイル等の硬質材の切断が可能。
- 自由な形状での切断が可能。
- 手元のレバーで研磨剤混入のON/OFF操作が可能。

## おわりに

特別高度工作車は、過去の様々な災害現場での教訓により導入されたものです。有事の際にはその特殊な機能や特長を存分に発揮させ、人命救助に役立てなければなりません。そのためには、常日頃からの点検や操作訓練が欠かせないことは言うまでもないでしょう。

警防課では、発生が懸念される南海トラフ巨大地震など大規模災害に備えるべく、特別高度工作車を効果的に運用するため、各種訓練の企画に引き続き取り組んでまいります。



# 「大阪南消防局」運用開始

令和6年4月3日（水曜日）、大阪南消防局庁舎4階にて、「大阪南消防組合消防広域化記念式典」が開催され、多くの方にご参拝いただきました。



大阪南消防組合消防広域化記念式典

吉村洋文大阪府知事から「市町村が、消防の広域化によるスケールメリットを最大限に活用され、消防力を強化し、住民サービスの向上を図られたことは、広域化を促進するうえで、大変心強い限りであり、府内消防における広域化推進の一助になるものと思っております」とのご祝辞をいただきました。

小池消防局長は、大阪南消防組合の富宅管理者から大阪南消防局旗を受け取り、「これまでに消防が経験した火災をはじめとする大規模地震、風水害等の各種災害に対し危機感を持って対策を立て、3消防本部が培った伝統を継承し、地域に密着した優しい消防、頼れる消防であり続けるよう組織一丸となって消防業務に勇猛精進することをここに宣言いたします」と決意表明を行いました。



## ◆ 大阪南消防局について

大阪南消防組合は、令和6年1月1日に設立されました。柏原市、富田林市、河内長野市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河内町、千早赤阪村の5市2町1村で構成されており、人口約48万人、面積約290平方キロメートルの管轄区域を有しています。

この度、柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部、富田林市消防本部および河内長野市消防本部の3消防本部は消防広域化を行い、令和6年4月1日から、大阪南消防局として運用を開始いたしました。



## ◆ 消防広域化実現まで

### 〜検討体制と経緯〜

消防組織法第33条第1項の規定に基づいて大阪府が作成した「大阪府消防広域化推進計画」に基づき、大規模自然災害の発生や救急需要の

増加、少子高齢化・人口減少社会の急速な進展など、様々な消防課題に対処し、将来においても地域住民の安全・安心を確保するため、柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部、富田林市消防本部及び河内長野市消防本部により、大阪南消防広域化を検討することになりました。

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部、富田林市消防本部及び河内長野市消防本部の3消防本部は、管内地域での人口減少と高齢化という社会構造の変化への対応、気象や地震による大規模な災害発生リスクの高まりを勘案した結果、広域的な消防力の強化が必要であるとの結論に至りました。まず、平成30年10月から消防の広域化及び連携協力に向けた方向性等の検討を開始し、平成31年2月には、「第1回大阪南消防広域化に関する会議」として5市2町1村の市町村長会議を開催しました。

それ以降、消防広域化を目指すに至るまで、26回にわたり5市2町1村の事務担当者により、消防広域化のメリット・デメリットの検討を行いました。

消防力強化の手段として、組織をすべて一体化する「消防広域化」と、組織はそれぞれのまま消防指令センターやはしご車を共同で運用する「連携協力」の2つがありますが、令和3年12月の「第4回大阪南消防広域化に関する会議」において、5市2町1村の市町村長が消防広域化を目指すことで合意しました。

その後、令和4年5月の「第1回大阪南消防広域化協議会」開催から、順次、協議が進められ、令和5年8月の「第5回大阪南消防広域化協議

会」において、「広域消防運営計画（案）」、「組合規約の改正（案）」、「広域化初期費用の負担に関する基本協定書」等が承認され、当初、協議会で予定しておりました協議事項に係る協議はすべて終了いたしました。

令和5年10月に大阪府知事から柏原羽曳野藤井寺消防組合の規約の一部変更への許可が下り、令和6年1月1日に新組合が発足、4月1日から運用を開始しました。



小池 一彰 消防局長（写真中）  
二口 豊 消防局次長（写真右）  
京谷 倫之介 消防局次長（写真左）





大阪南消防局長 小池 一彰  
旧 柏原羽曳野藤井寺  
消防組合消防本部 消防長



大阪南消防局次長 京谷 倫之介  
旧 富田林市消防本部 消防長



大阪南消防局次長 兼  
河内長野消防署長 二口 豊  
旧 河内長野市消防本部 消防長

平成30年から協議を開始して約5年が経過し、ようやく広域化が実現したというところですが、実際にはこれがゴールではなくスタートであるという思いでいっぱい、効果を最大限に発揮するにはどうすればよいかと、思いを馳せているところでもありますし、これからのスタートをどう切っていくかが非常に重要であると思っております。

1 本部1消防署の体制から1消防局3消防署体制となり、人員も倍増となりました。そのスケールメリットを活かしてどのように災害対応力、消防力を強化していくかを、まずは一番に考えております。

消防広域化自体は住民のためにするものですが、消防職員も広域化を実現できて良かったと思えないと良い組織にはならないと思っております。なによりも職員の働きやすい職場環境を整え、やりがいのある職場、プロ消防として自覚と誇りをもって、活気のある職場を目指したいと考えております。それをするにはどうしたらよいか模索しており、幹部職員をはじめ職員全員で議論をしながら理想の組織を目指してまいります。

富田林市は、過去から独自による取組のほか近隣自治体と連携して広域的な消防体制を構築するなど、効果的に消防力の充実強化を図ってきました。

しかしながら、近年の激甚化・大規模化する自然災害への対応も勘案した結果、3消防本部の消防力を結集する広域的な強化策が急務であると判断し広域化に向けた検討を平成30年から始め、令和4年5月に8市町村長による「大阪南消防広域化協議会」が発足、3消防本部を一元化する広域化の具体的な協議が行われることとなりました。

富田林市消防本部と比べ署所、消防車両、職員数が広域化により約3倍となり、消防業務の遂行や組織運営がより強固に、より迅速に、より効果的に、より効率的になることが期待できます。

この広域化が終わりではなく、これからも時代の進展とともに最善の方策を検討し、「災害に強い」消防の実現に微力ながら取り組みたいと思います。

平成23年に富田林市、河内長野市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村の6市町村で消防広域化協議会を設立し、私はその主担当として業務に取り組んでいましたが、大阪消防庁構想が浮上したため、志半ばで協議会が解散となり、広域化の実現には至りませんでした。その苦い経験があったため今回の広域化は、是非とも実現させたいとの強い思いがありました。

調整する項目が多く非常に難しい問題もありましたが、消防広域化協議会の事務局、3消防本部職員の努力で広域化を実現できました。今まで頑張ってくれた職員には本当に感謝しています。

最後に、これからも8市町村の住民の安全・安心を守っていくためには、広域化のメリットを生かした環境作りと、職員のモチベーションをさらに上げていける職場環境作りによる組織の成長が必要ですが、今回の消防広域化を成し遂げた職員にはその実力がたとえ確信しています。

## ◆ 消防広域化によって期待される効果

- 3 消防本部が、現状の署所・車両配置のまま消防広域化した場合に得られる効果をもとに、消防広域化によって期待されるメリットを整理すると次のとおりです。
  - 1 住民サービスの向上
    - (1) 現場到着時間の短縮
    - (2) 災害発生時の初動体制、増援体制の強化
  - 2 人員配置の効率化と充実
    - (1) 現場活動人員の増強
    - (2) 救急業務・予防業務の高度化・専門化
    - (3) 人事ローテーションによる組織の活性化
  - 3 消防体制基盤の強化
    - (1) 財政規模の拡大に伴う高度な装備・資機材の整備の充実及び効率化
    - (2) 人事異動・研修の充実など組織の活性化

## ◆ 災害対応力の強化

度重なる自然災害を教訓として、今後発生が予想される南海トラフ巨大地震への備えや、毎年被害に直面している風水害や土砂災害などに対応できるよう、「風水害対応高度救助機動部隊」を創設しました。

また、災害弱者が入居する福祉施設等、人命危険が大きな重要対象物に対する消防法違反を是正する「特別査察隊」を創設しました。今後も、8市町村の住民の皆様が安心して暮らせるよう、引き続き消防力の強化に取り組んで参ります。



救助工作車



救助支援車



風水害対応高度救助機動部隊



大阪南消防局特別査察隊